

危険物新聞

第 601 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編集
発行人 宮 崎 正 也大阪市西区新町1丁目5番7号
四つ橋ビル

TEL 06(6531) 9 7 1 7・5 9 1 0

定価 1部 60円



「平成16年の新春を迎えて」

財大阪府危険物安全協会
理事長 三好 治雄

平成16年の輝かしい新年を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
昨年は、本会の事業運営につきまして、格別のご指導、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、厳しい経済状況が続く中、8月から9月にかけて大規模な火災や爆発事故が立て続けに発生しました。

中でも、8月名古屋市内の油槽所で、改造工事中のガソリントankで発生した爆発火災事故や9月に発生した北海道苫小牧市内の製油所の原油及びナフサの2基のタンクから出火する事故など、屋外タンクにかかる事故が目立ち、危険物災害の恐ろしさを改めて認識したところであります。

また、危険物に関する事故ではないとはいえ、8月には三重県のごみ固形燃料発電所のRDF貯蔵槽での爆発事故や栃木県で発生したゴムタイヤ製造工場の火災事故などもまだ記憶に新しく残っています。

これらの事故は、一旦発生するとその被害は事業所のみならず、周辺住民や環境へ甚大な影響を与え、社会的にも大きな問題となり、平素からの万全な防災対策の必要性を強く感じたところでございます。

危険物施設における火災漏洩事故は、平成6年を境に増加傾向に転じ、特に平成12年には過去最高の511件となり、その後においても500件台を超え、依然として高い水準で推移いたしております。

このような状況を踏まえ、当協会では昨年から「危険物による火災・漏洩事故の未然防止」と「誰もが安心して暮らせる災害のない街づくり」の二つの目標を掲げ事業を推進してまいりましたが、本年もこの目標に向かって、役職員一同、更に心を引き締め、危険物の安全確保のため、事業の運営に一層努力し精進する所在でございますので、皆様の格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、本年が災害のない平穏な年でありますように、そして各地区協会と傘下会員皆様方の益々のご発展とご健勝、並びにご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



「平成16年(2004年)知事年頭所感」

大阪府知事
太田 房江

新年あけましておめでとうございます。

300年以上の年月を通して大阪が育ててきた「文楽」は、昨年、ユネスコの世界無形遺産として宣言されましたが、“浄瑠璃語り”“三味線弾き”“人形遣い”の三者によって展開する、まさに三位一体の舞台芸術であり、世界に誇るべき大阪のブランドです。大阪府政も、府民の皆さん、NPOや市町村としっかりと手を携え、一体となって、大阪が内外に誇る文化や産業、人材をフルに活用しながら、大阪再生に向けた努力を続けていかなければなりません。

私は、知事に就任して以来、府政の抜本的な構造改革に全庁一丸となって取り組んでまいりました。今後とも、でき得る限りの手立てを講じつつ、府政改革の新しい方向性を明らかにしながら、大阪の再生、府政の再生に向けた基盤づくりを着実にすすめます。

地域主権の確立に向けた取組も重要です。そのためには、地方が自らの財源で必要なサービスを自ら決定し、実施できるシステムの構築が必要であり、「地方から国を変える」という意識のもと、自らの行財政能力を高めつつ、国に対しては「大阪のことは大阪に任せてほしい」という毅然とした姿勢で、府としての意見を主張していきます。

わが国の景気は、ようやく昨年後半から明るさを取り戻しつつありますが、こうした動きを定着・発展させ、大阪産業の再生を図るためには、府内中小企業が世界に通用する新技術を生み出す、あるいはニーズに対応した新しい商品・サービスを提供・流通していくことが重要です。このため、産業再生プログラムの取組をさらに強力に進めることはもとより、とりわけ新事業創出の担い手であるものづくり企業の技術革新を促すことを通じ、オンリーワン企業やトップシェア企業の創出に全力で取り組みます。

今春、まちびらきを予定している彩都（国際文化公園都市）には、その核となる「医薬基盤研究所」や「彩都バイオインキュベータ」が開設されます。世界的な人材、技術、知識が集積し、未来の技術や新たなバイオ企業が生まれ、活躍する、「バイオ大阪」と呼ぶにふさわしい拠点として飛躍をめざします。

生活者の視点で、公民協働の取組をすすめることも、府政の基本に据えなければなりません。

急速な少子高齢化のなか、健康福祉施策が持続可能なものとなるよう、画一的な個人給付から自立支援型の施策へと再構築をすすめることが急務となっています。がん死亡率ワーストワン返上や保育所待機児童解消などの取組とあわせ、地域の様々な活動と連携して、援護を要する方々を身近な地域で見守り、課題を発見し、相談やサービスにつなげる、大阪らしい「地域の健康福祉セーフティネット」づくりをめざします。

現在集中的に取り組んでいる「子ども」「安全」「雇用」施設についても、一層の重点化を図りながら、着実に前進させてまいります。

昨年は、阪神タイガースが優勝。星野監督・選手たちとファンが「ありがとう」とエールを送りあう姿は、大阪のみならず、全国に感動を巻き起こしました。

チャレンジすることの大切さと、やればできるんだという自信がよみがえった瞬間だったと思います。大阪経済も依然厳しい状況にありますが、少しずつ明るい兆しも見えています。この光明を逃さず、さらに未来に向かって挑戦を続け、飛躍へのステップを着実に駆け上がっていく年にしていきます。

私の任期も残すところあとわずかとなりましたが、全力で府政に取り組み、大阪再生を一步でも前に、一秒でも早く進めてまいる決意です。

最後になりましたが、大阪府政の推進に対して、皆様より一層のご理解、ご協力をお願いいたしますとともに、今年が皆様にとりまして、すばらしい年になりますよう心からお祈りいたします。



「新年を迎えて」

大阪府下消防長会
会長 前川 大恵

平成16年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は、府下消防行政の各般にわたり、深いご理解と暖かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

現在、消防行政を取り巻く環境は著しく変化しており、行財政改革や規制改革の推進、高度情報社会の形成など、新たな消防行政対応が求められる状況にあります。

さて、昨年を振り返って見ますと、大阪府におきましては大規模な災害等はなかったものの全国的に見てみますと、三重県ゴミ固形化燃料発電施設の火災をはじめ、愛知県下では危険物タンク火災やガスタンク火災など地域住民の安全を脅かす災害が連続して発生し、さらに北海道十勝沖地震後に発生した出光興産㈱北海道製油所の屋外タンク火災では長時間燃え続け、地震発生時における危険物施設の被害の甚大さを思い知らされたところでございます。

こうしたことから、ごみ固形化燃料関連施設等新たな事業所の安全対策をはじめ、地震による災害を防止するための石油コンビナート等特別防災区域における防災対策の強化など、危険物に関連した規制の課題に、対応していく必要があると考えております。

次に、危険物施設の火災・漏えい事故発生状況を見ますと、全国的には10年ぐらい前から増加傾向が続いており、特に最近は大規模施設における災害が目立つなど憂慮すべき事態となっております。

これは、社会・経済情勢が長引く景気の低迷状況の中、人員や設備投資等の削減、雇用形態の変化などが影響しているものと考えられることから、さらなる、危険物に関する安全管理の徹底はもとより、危険物作業に従事する社員の教育・訓練の徹底、老朽化した設備・機器の維持管理の徹底など各事業所の実態に応じた対策の確立が不可欠であります。

さらに昨年6月、総務省消防庁では、危険物関係業界、消防機関などの連携・協力の下、共通認識・目標に基づき、官民が一体となった「危険物事故防止アクションプラン」を策定し、総合的な事故防止対策を強力に推進して行くこととしており、消防機関としてもその重要性を認識し、危険物防災対策の一層の充実・強化を図る必要があると考えております。

皆様方におかれましては、災害の未然防止に取り組み、地域社会の安全確保の重要性をご認識いただき、より一層の自主保安体制の確立・整備に努められ、安全で快適なまちづくりのために、ご尽力いただきますようお願いいたします。

結びになりましたが、本年が災害のない平穏な年でありますとともに、皆様方の事業のますますのご発展とご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



「新年を迎えて」

(財)全国危険物安全協会
理事長 山越 芳男

平成16年の新春を迎え、(財)全国危険物安全協会では、次のような事業を重点に実施しております。

第一は、危険物に関する安全思想の普及啓発であります。いうまでもなく、当協会の最も重要な事業であり、今後とも、県危連、地区協会、事業者等の皆様方と相協力して、広報資料の配布、研修会の実施等の諸事業を積極的に行っていく所在であります。

第二は、危険物施設の定期点検制度の実施であります。当協会は、この制度の実施主体として重要な役割を果たして参りました。特に本年は、点検制度の改正に伴う特別講習を実施するとともに、性能評価委員会を設置し、一定の点検方法が所定の性能を有するかどうかの評価を行うこととしております。

第三は、危険物取扱者の法定講習等に対する支援協力であります。講習レベルを確保する観点から当協会において保安講習用教材を刊行しており、その内容の一層の充実を図って参りたいと存じます。

第四は、危険物の安全管理に関する調査研究であります。当協会は、漏洩事故の分析、施設の点検方法、健全性評価、消防庁の調査研究に所要の協力を行っておりますが、今後とも、新しい研究課題に積極的に取り組んで行く決意であります。

第五は、ISO審査登録業務であります。当協会としては、消防庁のご指導のもと、F&AISO審査登録センターを設置したところであり、できる限り早くJABの認定を受け、品質の信頼性向上及び環境の改善に寄与して参りたいと存じます。

最後に、近年、国民の間で安全安心な生活の実現への関心が広く高まりを見せていることを踏まえ、「安全・安心の基礎知識」の発刊を予定しております。

私共役員一同は、県危連、地区協力を合わせ危険物の安全対策を推進する組織として、消防行政の中で一定の役割を与えられた団体として、中立公平で高度な技術を備えた専門調査研究機関として、一層皆様方のお役に立てるよう全力を傾注して参りたいと存じます。今後とも、皆様方のご指導、ご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

迎 春

大阪市危険物安全協会

豊能町防火協会

箕面市防火協会

池田市消防協会

豊中防火安全協会

島本町火災予防協会

高槻市火災予防協会

茨木市災害予防協会

摂津市防火安全協会

吹田市危険物安全協会

枚方市・寝屋川市
防火協会連絡協議会

交野市火災予防協会

四条畷市防火協会

守口門真防火協会

大東市火災予防協会

東大阪市防火協力会
連絡協議会

八尾火災予防協会

松原市火災予防協会

柏・羽・藤火災予防協会

美原町防火協会

大阪狭山市防火協会

富田林市防火協会

河内長野市防火協会

堺市・高石市防災協会連合会

泉大津市火災予防協会

忠岡町防火協力会

岸和田市火災予防協会

貝塚市火災予防協会

泉佐野市火災予防協会

泉南市火災予防協会

阪南岬火災予防協会

和泉市防災協会
危険物取扱者部会

大阪塗料商業協同組合

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(6358)9467(代表)

 株式会社 技研

〒530-0043 大阪市北区天満4丁目11番9号 工技研ビル ☎6358-9467-8

安全への道 33

「なぜ、危険な行動をするのか」

三村 和男

筆者が現役時代、全社の安全成績が著しく低下した年(1979年)があった。そのため抜本的対策の確立について経営トップから指示が出た。

そこで検討の一環として、筆者らは社内の過去10年間の労働災害(休業災害)約250件について、原因と災害に関係した作業行動の背景要因を分析し、その結果からヒューマンセーフティ活動(人的側面からの安全対策)の導入、推進を図った。その一部を紹介したい。

- (1) 250件の中、人的要因災害が75%、物的によるものが25%に分類できた。爆発・火災防止技術を主とし、人的側面からの安全対応をしてこなかったものにとっては予想外であった。
- (2) 災害に関わった作業者の行動の背景要因は、おおよそ次の3つに分類できた。
 - ①、設備、環境状態を結果的には間違えて行動したことで災害になったと思われるもの(約20%)
この場合は、作業者の思い込みによる行動である。(スイッチを切ったのですぐ止まると思い手を出すなど)
 - ②、設備、環境状態を正しくとらえる余裕が持てないままに行動し、災害になったと思われるもの(約30%)。

この場合は、普通であれば誰にでもすぐに分かるようなことであっても、時間的、心理的余裕がないため

に必要な配慮ができないままの行動である。

(回転体近くの汚れ、異常等を見つけて反射的に手を出すなど)

- ③、設備、環境状態を維持するため必要な配慮をしないまま行動して災害になったと思われるもの(約25%)。

この場合は、客観的に考えて十分な配慮と対応を図る余裕もあり、対応の仕方も確立されている筈であるのに、それがされないままの行動である。

(薬液受入先を未確認のまま受入れて溢流させるなど)

これらの要因は、その当時であればおそらく「不注意」と一括し、不注意さえなくせば災害はなくなるだろうと簡単に考えていたと思われる。

先に挙げた75%の人的要因災害の報告書に記載されている災害原因は、殆んどが「作業者の不注意」、その対策は「注意をするように」と書かれている。今思えば実にいいかげんであった。


そもそも不注意とは結果であって原因ではない。不注意を引き起こした要因が原因なのである。

不注意をなくすためには、注意の特性を理解する必要がある。それには4つの特性があるといわれている。方向性(注視できる範囲で、それは狭い)、変動性(注意は長く持続できず、いつしか不注意になる)、選択性(2つのことを同時に注意はできない)、情報性(問題意識の持ち方によって得られる情報が異なる)である。

例えば、注意の方向性の視点で、職場の注意掲示を見てみると、細かく書き過ぎ、読みずらく、注意喚起するにはふさわしくないものが少なくない。ただ書いておけば安全管理をしていると思うのは管理者の錯覚である。

なぜ危険な行動をするのか?

例えば安全な作業方法がきめてあるのに、それが守れないのはなぜかである。その理由として①安全な作



セイフティ & アメニティ

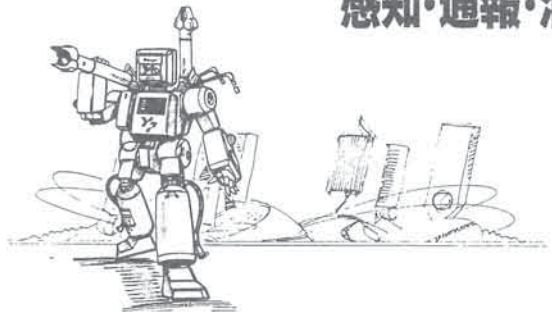
かんじる しらせる けす

感知・通報・消火

かんじゅう...

防災設備は、さまざまな防災機器やシステムによる安全の構築です。
総合防災メーカー、アマトロテックは、感じる・知らせる・消すの3つを、安全確保のベースとして、目的に沿った防災機器の研究開発をおこない、ビームセンサーシステムとして完成させています。

*
防災による快適環境づくりの「カンガハ」は、セイフティ・アメニティです。



防火設備は、さまざまな防災機器やシステムによる安全の構築です。
総合防災メーカー、アマトロテックは、感じる・知らせる・消すの3つを、安全確保のベースとして、目的に沿った防災機器の研究開発をおこない、ビームセンサーシステムとして完成させています。

アマトロテック株式会社

本社 〒537-0001 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.(06)6976-0701代 東京本社 〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)3446-7151代

ビル防災設備 プラント防災設備 緑地・業務設備 各種火災

業方法をよく知らない(教えていない)②知っていてもやれない(仕事量過大、難しい)③知っており、能力もあるのにやらない、この3つが考えられる。

この中でも重視したいのは、③である。つまり意識してやらないことである。具体的にいうと、決められた安全な作業方法だと能率が低下する、作業がしづらい、また上司も黙認しており、誰も注意しない、その他面倒だから、ちょっとですむからといってやらないことである。これらは、作業管理、職場規律と一人ひとりの安全意識に関わる問題である。これまでの事例にもみられるよう人間は賢いので、安全な作業方法がきめてあっても、ときには自分がやりやすい方法に変えてしまう。作業の定期的なチェックが必要。

新年を迎え、あらためて一人ひとりが心の中に安全を大事にすることを誇りとする一本の木が育つことを望む。

平成15年度 保安講習
2月期で終了

平成15年度の保安講習会は16年2月期の講習会をもって終了となります。この法定講習の受講期限の迫っている危険物取扱者、(講習受講義務者で、まだ受講していない危険物取扱者)は、次表のとおり講習会が予定されていますので受講してください。

次年度の保安講習は16年6月下旬から

平成16年度の保安講習は16年6月下旬から17年2月中旬にかけて府下60会場で実施の予定ですので、受講期限(原則として3年以内)にご注意ください。

《問合せ先》

〒550-0013 大阪市西区新町1-5-7 (四ツ橋ビル)
財大阪府危険物安全協会 TEL 06-6531-9717

危険物取扱者保安講習予定表

(16年2月9日~2月18日)

◇一般の部			
回数	開催日時(予定)	講習会場	所在地又は最寄駅
55	2月9日(月)午後	東大阪市民会館	近鉄・奈良線・永和駅
56	2月10日(火)午後	茨木市福祉文化会館	JR・阪急・茨木駅
57	2月12日(休)午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町駅
58	2月16日(月)午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町駅
59	2月17日(火)午後	*臨海センタービル	堺市石津西町7
60	2月18日(水)午後	東大阪市民会館	近鉄・奈良線・永和駅

注1. 保安講習の講習時間は3時間です。
(開講時間は、講習会場によって若干異なります)
注2. 会場欄*印の会場は駐車可。

受験参考図書(販売分)ご案内

- ① 危険物取扱必携(法令編) 1,200円
- ② 危険物取扱必携(実務編) 1,200円
- ③ 丙種テキスト 1,100円
- ④ 甲種・危険物取扱者試験例題集 1,000円
- ⑤ 乙種4類・危険物取扱者試験例題集 1,200円
- ⑥ 乙種1.2.3.5.6類危険物取扱者試験例題集 1,100円
- ⑦ 丙種・危険物取扱者試験例題集 900円

危険物取扱者試験受験者の自習用テキストの販売は下記の場所で行なっております。

〒550-0013 大阪市西区新町1-5-7 四ツ橋ビル8F
財大阪府危険物安全協会 電話06-6531-9717

時代をリードする
アクション&ハイテクノロジー

SUPER GYRO LADDER ACT
先端屈折はしご車 MLJS4-30
高所等での消火・救助活動をサポートする
先端のはしごが屈折する両側のはしご車



SUPER GYRO LADDER WT
水路付はしご車 MLGS4-30W
高所等での消火活動に威力を発揮する
大容量放水の水路付はしご車



MURITA

NEW KOMBINAT SYSTEM

大型高所放水車
MQA2-22



大型化学車
MC-BC



泡原液搬送車



「省力化合格機種」

〒544-8585 大阪市生野区小塚東5丁目5番20号
Tel: 06-6756-0110 Fax: 06-6754-3461
東京 大阪 名古屋 福岡 仙台 富山 松山

株式会社 **モリタ**

第24回 大阪府下論文募集 (締切 平成16年4月2日)

危険物安全管理、防災技術、事故対策、体験等について

危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発をするため、大阪府では毎年6月を危険物安全月間としています。この危険物安全運動推進の一環として、危険物安全管理、防災技術、事故対策並びに体験等についての論文を募集いたしますので奮ってご応募下さい。

応募資格 大阪府下の危険物関係事業所に勤務する者

募集内容 化学工場、油槽所、危険物倉庫、タンクローリー、ガソリンスタンドなどの危険物の製造・取扱・貯蔵に携わっている関係者による防災管理、安全管理、事故防止対策、事故体験記録、企業内共同研究等に関する論文や一般事業所における危険物の安全管理、事故体験記録等の論文を募集します。(※400字詰め原稿用紙に横書きで10~15枚程度)

送り先 氏名、年齢、勤務先事業所名、同所在地を記入の上、各地区協会を通じ、又は直接下記協会宛送付下さい。
〒550-0013 大阪市西区新町1丁目5番7号(四ツ橋ビル8F)
(財)大阪府危険物安全協会 論文係宛 電話 (06)6531-9717

締切 平成16年4月2日(金) (当協会必着)

表彰 ☆優秀賞 1編 (賞状と副賞10万円)
優良作品の中より選出し、6月に行われる大阪府危険物安全大会で表彰します。
☆優良賞 2~3編 (賞状と副賞3万円)
☆佳作 数編 (賞状と副賞2万円)
なお、優秀賞、優良賞に該当作品がない場合は、優良賞、佳作入選を増やすことがあります。
(選外の応募者には記念品を贈呈します。)

発表 平成16年5月中旬頃入選者の発表

その他 入賞作品の著作権は本会に帰属し、作品は返却しません。

お好きな色を…!

お客様の声をカタチにできるプランナーを目指します。

おかげ様で100年の長きにわたり消火器・消火設備の総合メーカーとして歩むことができました。長い歩みを振り返り、私たちが考える将来の企業像は「もっとお客様に近い会社」であること。謙虚な気持ちで原点に立ち戻り、お客様のニーズに合った商品開発・ご提案を通して、社会の利益に貢献したいと考えています。

HATSUTA

株式会社 初田製作所

本社 Y573-1132 大阪府枚方市栢原田近3-5 TEL (072)856-1281
東京支社 F140-0013 東京都品川区東大井2-9-3 TEL (03)9471-7411
関西支社 Y555-0013 大阪府西淀川区千舟1-5-47 TEL (06)6473-4870

